

～いにしへの都を訪ねて～

講座運営副委員長(校外学習担当)

林 美恵子

<奈良国立博物館>

「仏像館」を見学。国宝、重要文化財を含む常時100体近くの仏像が展示されている。吉野、金峯山寺山門の大規模改修に伴い、修復なった金剛力士像が展示されていた。「康成作」。間近で見るとその迫力、力強さに圧倒された。普門院本尊の不動明王座像も特別公開されていた。博物館で見る仏像は、美術品でありながら、なお信仰の対象として存在していた。

<金魚ミュージアム>



奈良県は三大金魚産地のひとつとして知られている。

長い胸びれ、尾びれを揺らしながら、ゆったり泳ぐ金魚は見飽きない美しさ。珍しい品種も展示され、多彩な姿に驚いた。鑑賞用の金魚の需要は高いのだろうか? 「金魚すくい」で手に入れた金魚しか飼ったことのない私。

トリックアートのコーナーでは童心に戻って遊んだ。示された場所に立ったり座ったり、そこで写真を撮ると面白かった。



<平城京跡>

74年間の都「平城京」は、784年「長岡京」への遷都後、永らく田畑となっていた。江戸時代末期から明治時代に、地元有志による保存活動が起こり、引き継がれた活動で1952年特別史跡の指定を受けた。広大な地域を地道に発掘調査し、1998年朱雀門、東院庭園復元。2010年には第一次大極殿を復元して、「平城遷都1300年祭」が行われた。2018年歴史公園として開園。2022年大極門完成。現在もなお復元整備が行われている。

「平城宮いざない館」に入館し見学。出土品や資料の展示、平城宮を体感する工夫がなされていた。

ススキの穂揺れを横目に、大急ぎで大極殿迄足を延ばした。



<感想>

「阪急神戸線の運休」の為、苦勞して集合頂きましたが、無事3か所の施設を巡りました。

「いまならキャンペーン」のお蔭で、昼食時の飲み物、帰りの車中での「じゃんけん大会」の景品を用意できました。外に出れば出会いと発見があります。家から出てマイスター教室に。教室から出て校外学習に。今後も多くの同窓会会員の方のご参加をお待ちしています。